

運転試験操作手順（リーチ）

No	運 転 操 作 手 順		注 意 事 項	
1	乗 車	<p>[注：乗車前のフォークリフトの周囲及び下部の安全確認は省略する]</p> <p>1 左手で車体を、右手は立ち席の背当てを掴み右足から（次に左足を乗せ）乗車する</p> <p>2 キースイッチをONにして電圧その他各計器の作動を確認する。</p>	各 工 程 共 通 事 項	<p>1 ティルトレバーを入れる前にブレーキペダルを踏まない</p> <p>2 発進及び曲がり角進行時に進行方向（左右を含む）の安全確認をする（前後進とも）</p> <p>3 フェンスとの接触、コースから脱輪をしない</p> <p>4 誤動作、前後進のやり直しをしない</p> <p>5 急発進をしない 急ブレーキをかけない</p> <p>6 方向指示器は省略してもよい</p>
2	発 進	<p>1 リフトレバーを手前に倒しフォークを上昇する（地上から5～10cm上迄）</p> <p>2 ティルトレバーを手前に倒しフォークを後傾する（3度以上）</p> <p>3 フォークリフトの周囲の安全を確認する</p> <p>4 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する</p> <p>5 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進する</p>		<p>1 リフトより先にティルトしない</p> <p>2 フォークを後傾する（3度以上）</p> <p>3 フォークの高さが高過ぎないか（地上20cm以上）</p> <p>4 フォークの高さが低過ぎないか（地上15cm以下）</p> <p>5 右手で指差呼称確認＝右ヨシ、左ヨシ、後方ヨシ、前方ヨシ</p>
3	①→② 走 行	架 台 ま で の 走 行		<p>1 フェンスとの接触注意</p> <p>2 最徐行</p> <p>3 フォークの先端がフォーク先端基準線の内側にあること（20cm以内）</p> <p>4 積み荷パレットの中心とフォークの左右のずれを少なく（約10cm以内）</p>
		<p>1 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進する。</p> <p>2 架台（積み取り位置15～20cm）前に正対する</p>		
		<p>3 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛けフォーク先端基準線で停止する（左足をブレーキペダルから離す）</p>		

4	取おろし	1 ティルトレバーを前方に倒しフォークを水平にする	1 荷に対してフォークを直角にする
		2 リフトレバーを手前に倒しフォークを上昇する(積み取るパレットの差込口高さ迄)	2 マストをティルトしながらリフトしない
		3 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	3 2段取りをする
		4 走行レバーを前方に倒し、ストラドルアームが架台直前にくるまで、ゆっくり前進する。	4 フォークを差し込む時パレットをこすらない
		5 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する (左足をブレーキペダルから離す)	5 フォークを差し込む時パレットを突かない
		6 リーチレバーを前方に倒しフォークを繰り出す(差し込む) フォーク垂直部とパレット端面との間隔を 10～20 c m空ける	6 架台にフォークリフトを接触させない
		7 リフトレバーを手前に倒し、静かにリフトする	7 リフト時の高さが高過ぎない (パレット下面と架台面までの間隔を 10cm 以上にしない)
		8 リーチレバーを手前に倒し、パレット荷を引き寄せる (パレット端面を架台端面より 10～15 c m迄引き出す)	8 荷重のためパレットが下がるが直必要なし
		9 リフトレバーを前方に倒し、パレット荷を架台に置く	9 パレット下面と架台が接触した状態でフォークリフトを移動させない
		10 リーチレバーを前方に倒し、フォーク垂直部がパレット端面に接触する迄フォークを繰り出す。(フォークを根元いっぱいまで差す)	10 フォークでパレットをこすったり、パレットを引きずらない
		11 リフトレバーを手前に倒し、静かにリフトする(架台上 5～10 c m)	11 フォークを根元までさしこむ
		12 リーチレバーを手前に倒しパレット荷を手前に引き寄せる (リーチ一杯迄)	12 荷をリフトした時は、常に荷の安定を確認する
		13 左右後方の安全を確認する	13 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内)
		14 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	14 指差呼称確認=右後方ヨシ、左後方ヨシ
		15 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進する (パレット先端もしくはフォーク先端が架台端面より 15～20 c m迄)	
		16 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する (左足をブレーキペダルから離す)	
		17 リフトレバーを前方に倒しフォークを下降する (ストラドルアーム上 5～10 c m)	
		18 ティルトレバーを手前に倒しフォークを後傾する (3度以上)	
		19 左右後方の安全を確認する	

停 止 線 A ま で の 走 行			
5	③→④ 積荷後進走	1 左右後方の安全を確認する	1 指差呼称確認=右後方ヨシ、左後方ヨシ
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、④の位置で停止する。	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛ける（左足をブレーキペダルから離す）	
6	⑤より停止線Aまで 積荷前進走	1 左右前方の安全を確認する	1 停止時の審査基準の詳細は、「停止線審査要領」を参照 2 一旦停止した後に前後の調整走行はおこなわないこと 3 左足をブレーキペダルから離す 4 Aにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度 5 指差呼称=右前方ヨシ、左前方ヨシ
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進し、停止線Aまで前進する	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け積荷の先端が停止位置線A内に入るように、停止線Aで一旦停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
停 止 線 B ま で の 走 行			
7	停止線Aより停止線Bまで 積荷前進走と積荷後進走	1 左右前方の安全を確認する	1 停止線Cの内側まで入れる 〔パレットの先端からフェンスまでの距離が離れすぎていないか (20cm 以内)] 2 Cにおける一旦停止時間はおおむね4秒程度 3 Bにおける一旦停止時間はおおむね3秒程度 4 停止時の審査基準の詳細は、「停止線審査要領」を参照 5 左足をブレーキペダルから離す
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進し、停止線Cの内側まで前進する	
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け積荷の先端が停止位置線C内に入るように、停止線Cで一旦停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
		5 左右後方の安全を確認する	
		6 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		7 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、停止線Bまで後進する	

		8 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け車体後部が停止位置線B内に入るように、停止線Bで停止する（左足をブレーキペダルから離す）	6 指差し呼称確認＝右後方ヨシ、左後方ヨシ
8	停止線Bより⑩まで 積荷後進 走行 積荷前進 走行	架 台 ま で の 走 行	
		1 左右後方の安全を確認する	1 パレット先端面がフォーク先端基準線の内側にあること (20cm 以内)
		2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		3 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、⑧の位置で停止する。	2 指差呼称確認＝右後方ヨシ、左後方ヨシ
		4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する（左足をブレーキペダルから離す）	
		5 左右前方の安全を確認する	
		6 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	
		7 走行レバーを前方に倒しゆっくり発進し、架台前（15～20cm）に正対する	
8 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け積み荷の先端がフォーク先端基準線内に入るように、停止する（左足をブレーキペダルから離す）			
9	積付け	1 ティルトレバーを前方に倒し、フォークを水平にする	1 マストをティルトしたままリフトしない
		2 リフトレバーを手前に倒しフォークを上昇する（架台上10～15cm迄）	2 パレットと架台との接触に注意する
		3 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する	3 走りながらリフトやティルトの操作をしない
		4 走行レバーを前方に倒し、ストラドルアームが架台直前にくるまで、ゆっくり前進する。	4 フォークリフト前輪を架台に接触させない
		5 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する（左足をブレーキペダルから離す）	5 2段取りとする
		6 リーチレバーを前方に倒しパレット端面を架台端面より10～15cm手前迄積み荷を繰り出す	6 荷の安定を確認する
		7 リフトレバーを前方に倒し、パレット荷を架台に置く	7 フォークを抜くときパレットをこすらないようにする
		8 リーチレバーを手前に倒し、フォーク垂直部から25cm程度残るようにフォークを引き寄せる	8 白色テープでマーキングされている（1.20m×1.20m）
		9 リフトレバーを手前に倒し、パレット荷を上昇する（架台上5～10cm）	
		10 リーチレバーを前方に倒し、パレット荷を積付け位置へ繰り出す	

		<p>11 リフトレバーを前方に倒し、パレット荷をゆっくり架台上に下降する</p> <p>12 リーチレバーを手前に倒しフォークを引き寄せる（パレットに当たらないようにリーチ一杯迄）</p> <p>13 左右後方の安全を確認する</p> <p>14 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する</p> <p>15 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進する（真直ぐ後進、積荷前 15～20 c m迄）</p> <p>16 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停止する（左足をブレーキペダルから離す）</p> <p>17 リフトレバーを前方に倒しフォークを下降する（地上から 5～10 c m上迄）</p> <p>18 ティルトレバーを手前に倒しフォークを後傾する（3度以上）</p>	<p>9 定位置の枠から出ないようにする</p> <p>10 荷の安定を確認する</p> <p>11 フォークがパレットをこすらないようにする</p> <p>12 フォークの先端がフォーク先端基準線内にあること（20cm 以内）</p> <p>13 フォークを下降する前にティルトしない</p> <p>14 指差呼称確認＝右後方ヨシ、左後方ヨシ</p>
		スタート地点までの走行及び停止と下車	
10	<p>⑪→⑫ 後進 走行 ゴール 停車 下車</p>	<p>1 左右後方の安全を確認する</p> <p>2 左足でブレーキペダルを踏んでブレーキを解除する</p> <p>3 走行レバーを手前に倒しゆっくり後進し、スタートの位置で停止する</p> <p>4 走行レバーを中立位置に戻し、ブレーキを掛け停車位置内に車体を正対して停止する（左足をブレーキペダルから離す）</p> <p>5 ティルトレバーを前方に倒しフォークを前傾する（一杯迄）</p> <p>6 リフトレバーを前方に倒しフォークを下降する（フォークの先端が接地する迄）</p> <p>7 キースイッチをOFFにして電圧その他各計器の停止を確認する</p> <p>8 左手で車体を、右手は立ち席の背当てを掴み、足元の安全を目視で確認し左足から降車する（右足元の安全を確認し右足を下す）</p>	<p>1 指差呼称確認＝右後方ヨシ、左後方ヨシ</p> <p>2 発進時フォークの高さが高過ぎないか（20cm 以上）</p> <p>3 停止位置不良（前後 30cm 以上 左右 10cm 以上。白線で明示する）</p> <p>4 飛び降りない</p> <p>5 左足より降りる</p> <p>6 標準時間の5分を越えないように</p>